

神戸市感染症発生動向調査週報

平成31年3月5日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所 (内訳) 東灘6, 灘3, 中央3, 兵庫3,
設置定点数 48 ケ所 北8, 長田3, 須磨6, 垂水8, 西8

第 9 週

平成31年2月25日 ~

平成31年3月3日

インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~
インフルエンザ	14	25	5	5	26	22	19	59	45	220		1	9	4	9	14	6	10	21	21	6	39	11	10	12	20	8	9	9	1

小児科

報告定点数 31 ケ所 (内訳) 東灘4, 灘2, 中央2, 兵庫2,
設置定点数 31 ケ所 北5, 長田2, 須磨4, 垂水5, 西5

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~							
RSウイルス感染症	2	1	1		2		1	5	5	17	2	3	6	4	1	1															
咽頭結膜熱	9						1	2		12			1	1	1	3	2	2	1	1											
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	3	4		8	2	6	3	10	43				1	3	4	7	10	3	2	9	2	1	1							
感染性胃腸炎	14	5	17	8	38	16	28	42	30	198		8	23	19	19	17	11	21	13	10	7	25	3	22							
水痘	1									1			1																		
手足口病	1						1			2			1																		
伝染性紅斑	3	1	1		5		2		1	13				1	3	2	3	1		1	1	1									
突発性発疹	1		2		2			3	2	10		3	5		1	1															
ヘルパンギーナ										0																					
流行性耳下腺炎							1			1								1													

〔風しんの届出が2例ありました。〕
2018年7月下旬から全国で風しんの報告が続いています。神戸市では今週、市内医療機関からの届出が2例ありました。全国的に30代から50代の男性の割合が多く、この世代の男性においては、風しんの抗体価の低い方が2割程度存在すると報告されています。
医師が風しんと臨床診断し、届出に必要な症状3つ(全身性の小紅斑や紅色丘疹、発熱、リンパ節腫脹)を満たす場合は、直ちに臨床診断例として発生届をご提出いただき、併せてIgM抗体検査の実施をお願いします。
なお、届出に必要な症状がそろっていない場合においても、予防接種歴や風しん患者との接触などから感染が強く疑われる患者を診察した場合には、情報提供をお願いします。

百日咳は、平成30年1月1日から全数報告となりました。医療機関で患者を診断した際には、届出基準に基づき、届出の提出をお願いいたします。

(インフルエンザ定点医療機関から報告された迅速キット陽性情報)

A 型	B 型	A型およびB型
169	21	0

[風しんの発生状況 国立感染症研究所HP](#)

[風しん予防接種の助成について 神戸市HP](#)

眼科

報告定点数 10 ケ所 (内訳) 東灘1, 灘1, 中央1, 兵庫1,
設置定点数 10 ケ所 北1, 長田1, 須磨1, 垂水1, 西2

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~	
急性出血性結膜炎										0																				
流行性角結膜炎	2		1			1				4						2										1	1			

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

東灘区○ノロウイルス感染症5例:1歳 女、2歳 男、2歳 女3例、
○ロタウイルス感染症3例:2歳 女、5歳 男、35歳 男
○ヒトメタニューモウイルス感染症1例:1歳 男
北 区○アデノウイルス感染症1例:1歳 女
垂水区○細菌性腸炎(カンピロバクター)1例:5歳 男
西 区○アデノウイルス感染症1例:年齢性別不詳
○ロタウイルス感染症3例:年齢性別不詳
○細菌性腸炎(カンピロバクター)1例:年齢性別不詳

【基幹定点からの報告】

細菌性髄膜炎1例:50代 男
インフルエンザによる入院1例:5~9歳 1例(うち、インフルエンザA型1例)

【全国の感染症の状況】

○インフルエンザ

市内のインフルエンザの定点あたりの患者数は4.6人と減少傾向です(先週:6.4人)。
定点医療機関からの迅速キット陽性情報はインフルエンザB型の割合が増加傾向です。
例年、インフルエンザB型は2月下旬頃から春先にかけて患者が増加するため、今後の動向を確認しましょう。

○麻しん

関西で麻しん患者の患者発生の報告が続いています。
麻しんは感染力が強く、空気感染するため、手洗いやマスクでの予防ができません。予防接種を受けたことがなく、麻しんにかかったことがない人は、ワクチン接種を検討しましょう。
また、麻しんを疑う症状が出現した際には、医療機関に事前連絡の上、公共交通機関の利用をなるべく避け、マスクを着用して受診しましょう。
神戸市では第8週に2例の麻しん患者の届出がありましたが、3月6日時点で患者からの二次感染の報告はありません。

[麻しんについて 神戸市](#)

[感染症に関すること 大阪市](#)

〔お知らせ〕 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向](#) [\[検索\]](#)

[「I」情報センター](#) ホームページを開設しています。詳細は[こちらをクリック](#)